



COMPUTEX2019 にテクノロジー発展の新トレンドを見据え、 世界 ICT リーディングカンパニーが一同に集結

イノベーション・エコシステムの無限の可能性を引き出す

台湾貿易センター（TAITRA）は、4月16日（火）COMPUTEX TAIPEI 2019 について台湾初の記者発表会を行いました。記者発表会では、正式に出展社リストを発表したほか、会期中に国際的なテクノロジーリーディングカンパニーのエグゼクティブによる講演も数多く予定していることを発表しました。AMD、IBM、Intel、Microsoft、Nvidia、Qualcomm などが、テクノロジー・イノベーション発展のトレンドにおいてそれぞれの見解を述べ、産業の最新動向と施策を説明します。COMPUTEX というプラットフォームは、これまでに蓄積された台湾関連産業における整った産業チェーンを踏まえ世界のテクノロジー関連事業社のコミュニケーション、交流を深め、無限のテクノロジー・エコシステムの可能性を引き出します。



COMPUTEX 出展募集の成果を発表 イノベーション・エコシステムを構築

COMPUTEX TAIPEI 2019 は 5 大テーマで展示会を構成しており、AI&IoT（人工知能とモノのインターネット）、5G（第五世代移動通信技術）、ブロックチェーン（分散型台帳技術）、Innovations & Startups（イノベーション&スタートアップ）」と Gaming & XR（ゲーミング & 仮想現実）という 5 つの展示内容になっています。現在、出展社数 1,685 社、出展ブース数 5,508 に達しており、2018 年に比べてそれぞれ 5.1%と 9.8%の拡大を遂げました。

今年初めて追加した南港展示ホール2（TaiNEX 2）は、IoT、通信、5G をテーマとして、いたるところに存在するスマートテクノロジーを示す未来のライフスタイルを展示します。成長の勢いを見せるゲーミング産業は VR や、AR、XR など融合した展示を用意しています。台湾国内外の 100 社近くの主要メーカーが、ゲーミングブランドの最新動向と進化しつつある商品の新しい体験を提供します。台湾は世界でゲーミング産業における最も重要なポジションを目指し、基礎を固めていきます。

4 年目に入った COMPUTEX InnoVEX（イノベーション・スタートアップエリア）は、すでにアジア最大の影響力を誇るプラットフォームとなり、今年は 5 月 29～31 日、台北国際貿易センター展示ホール 1 にて展示し、世界から 402 社のベンチャー企業およびチームが出展します。ポーランド、香港、ハンガリー、ブラジルは、初のパビリオン出展を決定しました。また、4 年連続出展のオランダ、フランス、韓国を含む 11 か国・地域のパビリオンは国際ベンチャーチームを率い、COMPUTEX のプラットフォームを通じて台湾の優秀なスタートアップチームと共に競争しあい、スタートアップへの世界の注目を集めます。共同でテクノロジー・イノベーションの更なる可能性を引き出すことが期待されています。



AI&IoTの展示、多彩、多角的なアプリケーションが勢ぞろい

COMPUTEX TAIPEI 2019 は初めて AI&IoT (人工知能とモノのインターネット) というテーマをもとに、「システムとソリューション」、「産業の IoT ソリューション」、「SmarTEX」及び「InnoVEX (メーカー)」という展示エリアにわたり展示し、スマートホーム、スマート交通、ウェアラブル及びヘルステックなどのソリューション施策まで及びます。

記者会見に出席したサイバーリンク (CyberLink) は、目下台湾で最も正確な顔認識エンジンである「FaceMe」によって、Windows、Linux、Android、iOS 等のプラットフォームを AIoT (AI + IoT を組み合わせた造語) エッジコンピューティングデバイスに「スマートリテール」、「スマートファイナンス」等のソリューションが導入できることを紹介しました。さらに AMD は、長年にわたりハイパフォーマンス、グラフィックスおよびビジョンテクノロジーの革新を推進してきたと述べ、ハイパフォーマンスの分野では今後も改善を続けていくと紹介しました。そしてベンキュー (BenQ) は「BenQ Intelligent Qube」が今年の COMPUTEX のメイン展示だと紹介し、合計 10 社の共同パートナー企業と進める複数の革新的な AIoT スマートソリューションを紹介しました。スーパーマイクロ (Super Micro) は、ストレージシステムが、より優秀で、より速く、より環境に優しいソリューションを提供する、独自のリソース・セービング・アーキテクチャを備えた新世代のサーバーを紹介しました。

COMPUTEX シリーズフォーラム 著名講師陣が集結

今年の COMPUTEX 前に開催された国際記者会見では、CEO 基調講演が初めて追加され、AMD プレジデント兼 CEO リサ・スー氏を招いて「次世代のハイパフォーマンス・コンピューティング」と題した基調講演を開催することを発表しました。講演の中では、ハイパフォーマンス技術の開発と産業構造を語っていただく予定です。展示会初日に開催されるインテルによるオープニング基調講演 (COMPUTEX 2019 Industry Opening Keynote by Intel) には、インテルのシニアバイスプレジデント兼カスタマーコンピューティングビジネスグループ ゼネラルマネージャーであるグレゴリー M. ブライアント氏が講演を行います。さらに展示会の 2 日目には、マイクロソフトによる基調講演も、業界の期待が高まっています。

台湾貿易センターは、初めて経済部新世代通信技術推進室 (5G Office) と協力し、第 6 回 TAIPEI 5G SUMMIT を開催します。大手通信機器メーカーのエリクソン (Ericsson)、大手半導体メーカーのクアルコム (Qualcomm)、亞太電信 (Asia Pacific Telecom)、クアンタ・コンピュータ (Quanta Computer) 等の専門企業が、5G 商用化後に、5G 通信技術と新たな IT 技術をいかに統合していくか、革新的な市場と新しいアプリケーションとビジネスモデルを創造していくかを討論します。

さらに会期中に最も人気のある COMPUTEX フォーラムでは、「パーベイシブ・インテリジェンス」 (Pervasive Intelligence) をテーマに、IBM、Intel、Micron、NVIDIA、SAP、Siemens 等の企業から 18 名の著名講師陣を招きます。「未来の技術を探る」、「スマート化された未来の創造」、そして「スマート化された IoT の構築」という 3 つのテーマに沿って、将来を見据えた技術の探り、将来の産業構造の発表し、革新的な新世代製品と技術トレンドも発表します。

台湾貿易センターの President & CEO 葉明水 (よう めい すい) は、次のように語っています。「技術発展と市場での応用には連動性があります。技術の進歩は、様々な技術の発展を促進します。今年の COMPUTEX では、技術のクロスボーダー的な統合がいたるところで見られます。AI と IoT という 2 大テクノロジーの結合により、絶え間なく変化するスマートアプリケーションが生まれ、5G 商用化後、このトレンドは、より多くの産業と領域に広がり、次世代の技術革新を推進します。国際的な通信業界の指標的な展示会として、COMPUTEX が今後も世界の技術トレンドと密接に連動し、世界レベルのエリートパートナーの参加を促し、世界規模のテクノロジー・エコシステムを共同で構築していきます。」



COMPUTEX 2019 は、5月28日から6月1日まで台北南港展示センター ホール1、ホール2、台北世界貿易センター ホール1 (InnoVEX 展示エリア、会期5月29日~31日)、台北国際会議センターで開催します。この5日間にわたる展示会は、国内外の電気通信メーカーと新しい起業家が集まり、革新的なソフトウェアとハードウェア技術の境界を越えて統合された最新技術と製品が紹介されます。COMPUTEX 2019 は、テクノロジー・エコシステムの着実な発展の基礎となる ICT 業界における最高レベルの展示会を目指します。

■その他の情報

- COMPUTEX2019 日本語サイトは[こちら](#)
- COMPUTEX2019 参加申し込みは[こちら](#)

■COMPUTEX について

1981年以來、30年以上にわたり ICT 産業の成長と共に、業界の変動そして成長を続け、アジア最大の見本市へと成長を遂げることができました。世界の ICT 産業サプライチェーンを完備し、世界のテクノロジー・エコシステムを創るという目標のもと垣根を超えたビジネスアライアンスの構築を目指しております。

■台湾貿易センター (TAITRA = Taiwan External Trade Development Council) について

台湾貿易センターは、1973年に東京で日本事務所設立以来、台日間の貿易促進、パートナーシップの強化を目指し、年間20以上の日本市場開拓ミッションを招いているほか、数多くの見本市へ出展し、日本、台湾間の貿易の振興を図っております。また台湾企業の国際競争力の強化と世界市場への進出を手助けし、同時に外国企業に対しても台湾での市場拡大をサポートしています。このような活動を通して、台湾製品をより多くの皆様に知っていただけるよう、日々たゆまぬ努力を続けています。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

台湾貿易センター東京事務所 COMPUTEX 担当 林 冠芝 (りん かんし)
TEL: 03-3514-4700
E-mail : lin@taitra.gr.jp

【COMPUTEX 広報事務局】

共同ピーアール株式会社 担当：深澤、干場、亀田
TEL: 03-3571-5176
E-mail: computex-pr@kyodo-pr.co.jp